

土砂災害から身を守ろう

土砂災害の種類と前兆

がけ崩れ

傾斜30度以上である土地が崩れ落ちる自然現象



特徴

- ・突発的に発生する
- ・人命に関わる被害に直結しやすい
- ・危険な箇所が増えている

前兆

- ・がけから水が湧き出る
- ・小石がパラパラと落ちてくる
- ・湧き水が濁る
- ・がけにひび割れができる
- ・地鳴りがする

土石流

山腹や溪流の石や土砂が大雨などにより水と一緒に流下する自然現象



特徴

- ・突発性が高い
- ・直進性が強い
- ・破壊力が大きい

前兆

- ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- ・降雨が続くのに川の水位が下がる
- ・立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

地すべり

土砂の一部が地下水等に起因して滑る、又はこれに伴い移動する自然現象



特徴

- ・広範囲に被害を及ぼす
- ・反復性が高い

前兆

- ・亀裂や段差ができる
- ・がけや斜面から水が噴き出す
- ・井戸や沢の水が濁る
- ・樹木が傾く
- ・地鳴り、山鳴りがする

土砂災害時における避難行動について

土砂災害時は立ち退き避難が基本となりますので、早めの避難を心がけましょう。災害が切迫するなど安全に避難ができない状況に至った場合は、自宅・施設等の山や崖から少しでも離れた部屋に退避し、安全確保に努めましょう。

▶ P17「洪水・土砂災害時における避難行動」を参照

土砂災害時における避難情報の発令対象区域

土砂災害警戒情報発表時など土砂災害の危険度が高まった時に発令します。**発令は地区コミュニティ単位で避難を呼びかけます。**

※地区の全ての人が同じ様に避難する必要はありません。土砂災害ハザードマップを見て、自宅だけではなく、職場など、よく利用する施設近くの指定緊急避難場所も確認しましょう。

※ただし、対象区域外(比角・枇杷島・松波・荒浜地区)であっても危険を感じたら避難してください。

土砂災害ハザードマップを確認する

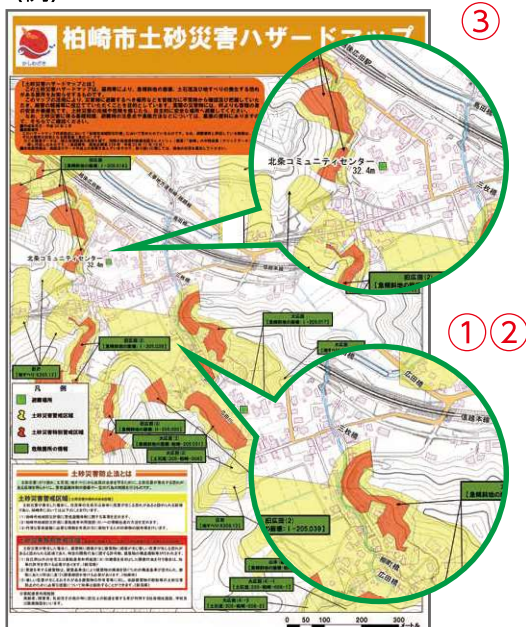
住まいや職場が「土砂災害(特別)警戒区域」に当たるかをハザードマップを見て確認しましょう。ハザードマップは市のホームページまたは柏崎市役所防災・原子力課、各コミュニティセンターで確認ができます。

確認の手順

〈確認するポイント〉

- ① 自宅や職場を見つける
- ② 土砂災害(特別)警戒区域に入っているか確認する
- ③ 一番近い指定緊急避難場所を見つける
- ④ 指定緊急避難場所までの避難経路を確認する

〈例〉



※書き出してみましよう



■で囲われた地域(土砂災害警戒区域)

- 土砂災害が発生した場合に
住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがある地域

■で囲われた地域(土砂災害特別警戒区域)

- 土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ、
住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがある地域

自宅だけではなく、よく利用する施設近くの指定緊急避難場所も確認しましょう

